

株主通信

2022年4月1日～2022年9月30日

証券コード 4886

あすも、みらいも、すこやかに

先端の創薬を通じて
人々の健康と明日の社会に貢献する

第2期 〔中間期〕

 あすか製薬ホールディングス株式会社

株主の皆さまへ

あすか製薬ホールディングスはグループ会社一丸となって中期経営計画2025を達成し、企業価値向上に向け着実に事業に取り組んでまいります

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第2期前半(2022年4月1日から2022年9月30日まで)の事業概況をご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

あすか製薬ホールディングスは売上高が301億7千2百万円(前年同期比6.0%の増加)となり、中間期としては過去最高の売上高を更新しました。

中核子会社であるあすか製薬は、内科、産婦人科、泌尿器科の3分野に注力している医薬品事業において、薬価改定の影響を受けつつも全般的に堅調に推移しました。産婦人科領域においては、「レルミナ」や「フリウェル」が順調に伸長したほか、本年6月から販売を開始した月経困難症治療剤「ドロエチ」も実績を牽引しました。また、内科領域においては主力品である「チラーゼン」および「リフキシマ」、泌尿器科領域においては、「リュープロレリン」が着実に伸長した結果、医薬品事業の売上高は268億5千1百万円となりました。

動物用医薬品、飼料添加物等の製品を販売しているあすかアニマルヘルスにつきましては、飼料添加物等の売上が好調であったことから売上

高は32億3千4百万円となりました。

臨床検査、医療機器等の各事業を展開しているあすか製薬メディカルにつきましては、前年度に発売した毛髪ホルモン量測定キットの売上寄与があり、売上高は8千3百万円となりました。

あすか製薬ホールディングスはスペシャリティファーマを基盤とするトータルヘルスケアカンパニーを目指し、中期経営計画2025の達成に向けて着実に進捗しています。

あすか製薬は、重点領域である産婦人科領域において、医療用医薬品に加えフェムテック等の様々なテクノロジー・手法を通して女性に寄り添い持続的な成長を目指してまいります。

あすかアニマルヘルスは主力である産業動物用医薬品と飼料添加物、混合飼料、飼料原料に加えてコンパニオンアニマル(CA)用医薬品開発を推進してまいります。

あすか製薬メディカルは衛生検査所を開設し、10月1日より医療機関からの検査受託を開始するなど、最新の測定技術を通して豊かな健康社会づくりに貢献してまいります。

各社の取り組み等につきましては、本株主通信

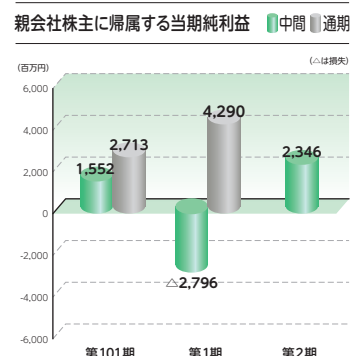
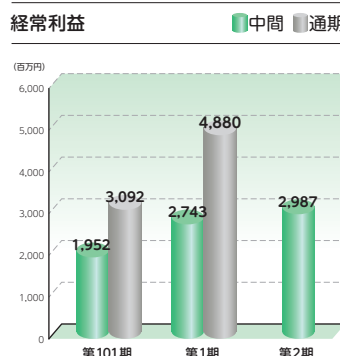
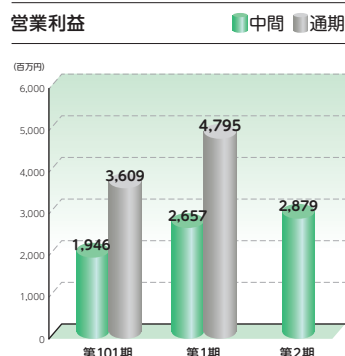
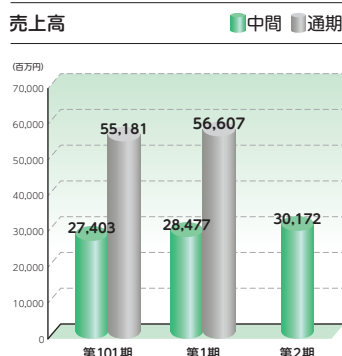


代表取締役社長 山口 隆

をご一読下さい。

あすか製薬ホールディングスはグループ会社一丸となって中期経営計画2025を達成し、企業価値向上に向け着実に事業に取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト(連結)



(注1) 第101期の値はあすか製薬株式会社として公表した値を参考として記載しております。(注2) 当中間期末の自己資本比率は60.3%です。

◆ 第1回 Femtech Tokyoへ出展

あすか製薬ホールディングスは、「第1回 Femtech Tokyo」(10月20日～22日、東京ビッグサイト)に出展しました。ブースでは、あすか製薬の「女性のための健康ラボMint+」の活動と、あすか製薬メディカルのホルモン検査事業を中心に紹介し、開催期間3日間で男女合わせて約1,300名の方にお越しいただきました。

「女性のための健康ラボMint+」としては、Mint+およびMint+ teensのWebサイトの紹介、性教育への取り組み、生理に関する男女の意識調査の結果などを紹介し、女性の健康に関する正しい情報を知ることの大切さや、今後の活動の展開などを説明しました。当社は、これまで蓄積してきた専門性や知見をもとに、フェムテック*関連も含め、今後も女性の健康へ貢献してまいります。

*フェムテック:「Female(女性)」と「Technology(テクノロジー)」を合わせた造語で、女性のライフステージにおける健康課題をテクノロジーで解決する製品やサービスを指す



あすかアニマルヘルス株式会社

◆ 混合飼料等を用いたアニマルウェルフェアの推進

ハーブ系混合飼料「ワクモヘイト」が、国際養鶏養豚総合展2022においてIPPS AWARD 2022養鶏部門を受賞したことで、得意先様からの製品に関する問い合わせが増加しました。

加えて、公益社団法人・中央畜産会刊行「畜産コンサルタント」2022年9月号への特別寄稿を依頼される等、鶏の吸血ストレス軽減に繋がる製品として注目度が高まっています。

また、昨今の配合飼料価格の高騰により畜産農家様の飼料コスト低減が進む中、飼料効率改善と家畜の健康維持を目的とした酵母製剤等を推奨する活動を展開しています。



株式会社あすか製薬メディカル

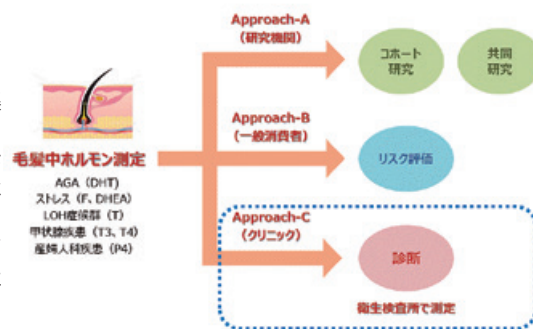
◆ 衛生検査所開設による毛髪測定事業新展開

あすか製薬メディカルは、2022年10月1日付で「衛生検査所」を開設しました。

衛生検査所とは、病気の診断や健康診断のために採取された検体を医療機関から集めて検査する施設であり、「臨床検査技師等に関する法律」に定義されているものです。

これにより外部機関から高い評価を得るとともに、「毛髪ホルモン量測定キット」においては、これまでのリスク評価のみならず医療機関での「診断」にも活用できることになりました。

微量の毛髪ホルモン量を測定する独自技術を活用した検査キットの開発を継続していくことにより、毛髪測定事業をあすか製薬メディカルの中核事業に発展させていきたいと考えています。



事業の概況

【各事業の概況(第2四半期売上構成比)】

医薬品事業 (あすか製薬)

売上高 **268億51百万円**
(前年同期比 **4.8%↑**)
セグメント利益 **31億41百万円**
(同 **12.3%↑**)
構成比 **89.0%**

医薬品事業は全般的に堅調に推移しました。売上高は268億51百万円、セグメント利益は31億41百万円となりました。

アニマルヘルス事業 (あすかアニマルヘルス)

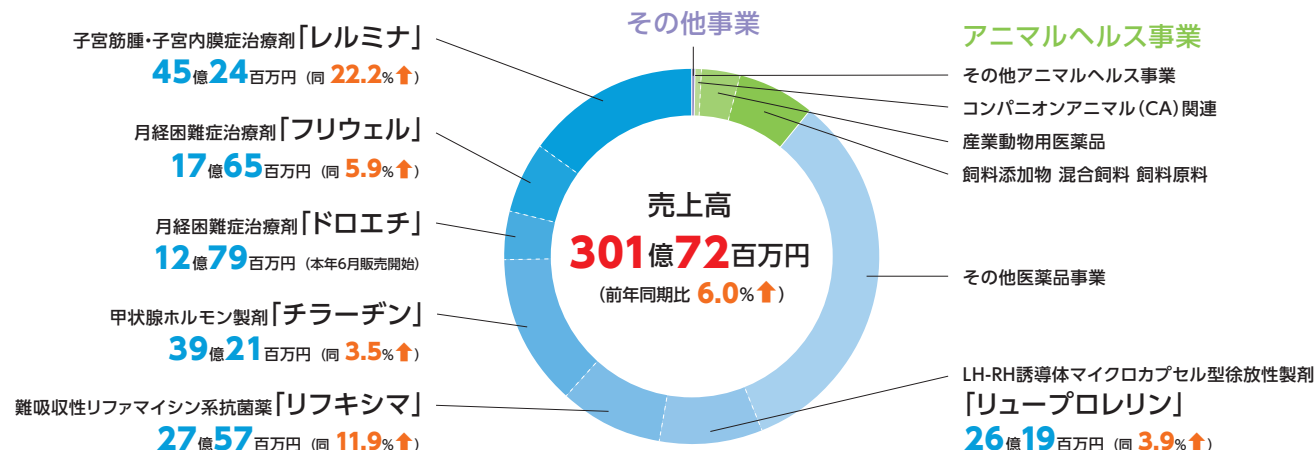
売上高 **32億34百万円**
(前年同期比 **15.9%↑**)
セグメント利益 **2億31百万円**
(同 **1.0%↑**)
構成比 **10.7%**

アニマルヘルス事業は、飼料添加物の売上が堅調であったこと等から、売上高は32億34百万円、セグメント利益は2億31百万円となりました。

その他事業 (あすか製薬メディカル含む)

売上高 **86百万円**
(前年同期比 **29.7%↑**)
セグメント損失 **20百万円**
構成比 **0.3%**

臨床検査、医療機器、サプリメント等の各事業を展開しているその他事業は、売上高は86百万円、セグメント損失は20百万円(前年同期は26百万円の損失)となりました。



◆ 研究開発の状況

避妊を効能・効果として開発中のLF111(ドロスピレノン)は、PhaseⅢ試験を実施しております。東レ株式会社との間で、日本をテリトリーとした共同事業化契約を締結している東レとナノシート株式会社が共同で開発中のTRM-270(癒着防止材)につきましては、PhaseⅢ試験が開始されました。武田薬品工業株式会社との間で、日本における子宮筋腫の独占の開発権および独占的販売権を取得するライセンス契約を締結しているレルゴリクス配合剤につきましては、開発準備をしております。

開発パイプライン (2022年11月時点)

前回からの変更点

開発番号(一般名)/領域・効能	研究※1	非臨床※1	PhI	PhII	PhIII	申請	承認
LF111(ドロスピレノン) 避妊					PhⅢ実施中		
(オプション契約) PMS/PMDD※2治療薬 レナサイエンスにて開発中				医師主導PhⅡ実施中			
(オプション契約) 子宮頸部異形成治療薬 キノファーマにて開発中				韓国にてPhI/Ⅱ 実施中			
AKP-022(レルゴリクス配合剤)/子宮筋腫			開発準備中				
テーマA/産婦人科領域							
テーマB/産婦人科領域							
TRM-270(癒着防止材) (消化器領域・産婦人科領域)					PhⅢ実施中		
L-105(リファキシミン) 肝性脳症(小児)					PhⅡ/Ⅲ 実施中		
テーマC/内科領域							
AKP-009(ルダテロン酢酸エステル) 前立腺肥大症				PhⅡa終了※3			
AKP-017(テストステロン経鼻剤)			開発準備中				
AKP-021(mPGES-1阻害剤)							
テーマD/泌尿器科領域							

※1 研究、非臨床のため詳細は非開示 ※2 月経前症候群/月経前不快気分障害 ※3 PhⅡa試験の結果を踏まえ、最大効果を確認するために実施していた追加のPhⅠ試験は終了しました。

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前年度末 2022年3月31日現在	当中間期末 2022年9月30日現在
資産の部		
流動資産	49,557	52,852
現金及び預金	12,103	17,224
受取手形、売掛金及び契約資産	14,482	16,357
その他	22,972	19,270
固定資産	33,739	33,374
有形固定資産	10,936	10,798
無形固定資産	6,183	5,192
投資その他の資産	16,620	17,383
投資有価証券	12,223	13,274
その他	4,396	4,108
資産合計	83,297	86,227
負債の部		
流動負債	16,011	17,995
固定負債	18,393	16,229
負債合計	34,404	34,224
純資産の部		
株主資本	45,419	47,624
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	1,867	1,847
利益剰余金	45,833	47,954
自己株式	△3,479	△3,375
その他の包括利益累計額	3,473	4,378
その他有価証券評価差額金	3,231	3,739
その他	241	638
純資産合計	48,892	52,002
負債純資産合計	83,297	86,227

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前中間期 2021年4月 1日から 2021年9月30日まで	当中間期 2022年4月 1日から 2022年9月30日まで
売上高	28,477	30,172
売上原価	15,051	15,870
売上総利益	13,426	14,301
販売費及び一般管理費	10,768	11,422
営業利益	2,657	2,879
営業外収益	254	236
営業外費用	168	128
経常利益	2,743	2,987
特別利益	—	32
特別損失	6,882	—
税金等調整前中間純利益(△は損失)	△4,139	3,019
法人税等	△1,342	673
中間純利益(△は損失)	△2,796	2,346
親会社株主に帰属する中間純利益(△は損失)	△2,796	2,346

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前中間期 2021年4月 1日から 2021年9月30日まで	当中間期 2022年4月 1日から 2022年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,417	1,666
投資活動によるキャッシュ・フロー	△427	△199
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,386	△1,346
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△396	121
現金及び現金同等物の期首残高	10,514	17,103
現金及び現金同等物の中間期末残高	10,117	17,224

会社の概要 (2022年9月30日現在)

社名	あすか製薬ホールディングス株式会社 ASKA Pharmaceutical Holdings Co., Ltd.
設立	2021年4月1日
資本金	11億9,790万円
従業員数	751名(連結) (9月30日現在)
事業内容	グループ会社の経営管理およびこれに附帯する業務
本社	〒108-8532 東京都港区芝浦二丁目5番1号
グループ会社	あすか製薬株式会社 あすかアニマルヘルス株式会社 株式会社あすか製薬メディカル
持分法適用関連会社	Ha Tay Pharmaceutical Joint Stock Company 日本硝子産業株式会社 他1社

大株主 (上位10位) (2022年9月30日現在)

株主名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
1. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,122	11.03
2. 武田薬品工業株式会社	2,204	7.79
3. ゼリア新薬工業株式会社	1,877	6.63
4. 株式会社三菱UFJ銀行	1,100	3.88
5. 株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,028	3.63
6. 山口 隆	891	3.15
7. 株式会社ヤマグチ	579	2.04
8. あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	530	1.87
9. 日本生命保険相互会社	522	1.84
10. あすか製薬ホールディングス従業員持株会	505	1.78

(注) 1. 当社は自己株式を2,269,161株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

●株式に関する手続きについて

お手続き、ご照会等の内容	証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座*の場合
・単元未満株式の買増・買取請求 ・届出住所・氏名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	お取引の証券会社等にお問い合わせください。	三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ ・特別口座に関するお問い合わせ	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話(通話料無料) 0120-232-711 https://www.tr.mufj.jp/daikou/	

特別口座* 株券電子化前に証券保管振替機構(ほふり)に預託していなかった株券の株主様の権利を保全するために、三菱UFJ信託銀行に開設した口座です。特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

●ご案内:少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

役員 (2022年9月30日現在)

■取締役

代表取締役社長	山口 隆
代表取締役専務取締役	丸尾 篤嗣
代表取締役専務取締役	山口 惣大
取締役常務執行役員	森 麻衣子
取締役常務執行役員	山口 文豊
社外取締役	吉村 泰典
社外取締役	山中 通三
社外取締役	播野 勤

■監査役

常勤監査役	熊野 郁雄
常勤監査役	福井 雄一郎
社外監査役	木村 高男
社外監査役	福地 啓子

■執行役員

上席常務執行役員	加藤 和彦
常務執行役員	田村 聖彦
執行役員	軍司 国弘
執行役員	齋藤 淳一

株式の状況 (2022年9月30日現在)

発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式の総数	30,563,199株
単元株式数	100株
株主数	8,335名



<IRメール配信サービスを開始しました>

タイムリーな情報提供を目的としてIRメール配信サービスを始めました。ぜひ登録ください。



<https://www.aska-pharma-hd.co.jp/invest/mail.html>

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。(所要時間は5分程度です)

①下記URLにアクセス ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示



<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード 4886

……以下の方法でもアンケートにアクセスできます……



検索窓から



kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信

「件名」「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
<https://www.link-cc.co.jp>

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」
MAIL: info@e-kabunushi.com